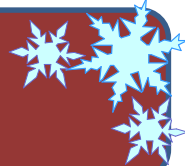


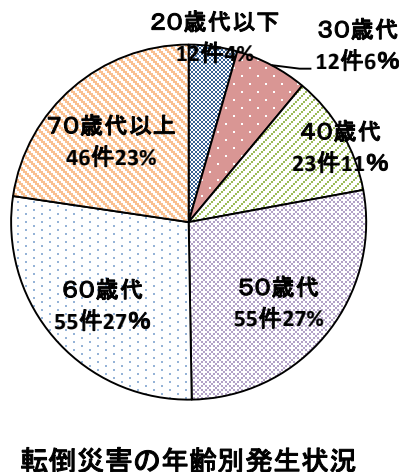
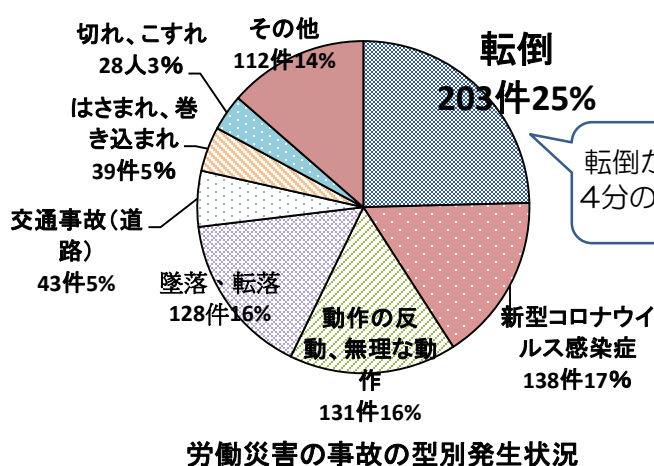
# STOP！転倒災害

～年末年始の転倒災害を防ごう～



中央労働基準監督署管内の労働災害は、転倒災害が最も多く発生しており、働く人の高齢化が進む中でさらに増加傾向にあります。また、冬季に東京で積雪があると大幅に転倒災害が増加します。高齢者の転倒は、その後の生活の質を低下させることも多く、その予防は日常生活を送る上でも重要です。年末年始にかけて転倒災害防止対策を徹底しましょう！

## 中央労働基準監督署管内の労働災害発生状況(令和3年(11月末現在))



(労働者死傷病報告より)



## 令和3年の主な災害事例と対策(同種災害が多発している事例です)

1. 扇風機のコードに足を引っかけて転倒し、膝を床にうちつけて骨折した。  
→床のコードは見ているようでも引っかかります。通路からは撤去しましょう。
2. 水たまりでコケのあった場所で足を滑らせて転び、足首を骨折した。  
→床の水たまり、濡れなど、滑りやすいものはすぐにふき取りましょう。
3. 床においたままになっていた折り畳みコンテナに足を取られ転倒し、膝を骨折した。  
→整理整頓し、通路、階段、出口に物を放置しないようにしましょう。
4. 暗闇の中で駐車場内を歩いていたところ、車止めにつまずき転倒し、膝を打撲した。  
→十分な明るさ(照度)を確保しましょう。段差のある箇所には注意を促す表示をつけましょう。
5. 両手で荷物を抱えて階段を昇る際、足先を引っかけて転倒し、手指を骨折した。  
→手がふさがった状態で階段を使わないようにしましょう。階段では手すりに手をかけて昇降するようにし、特に高齢者は習慣づけるようにしましょう。

## 転倒災害防止対策を実施しましょう

- 災害事例を参考にするなどして、転倒災害防止の安全教育を行いましょ。
- 職場内の掃除などを契機に、転倒危険個所の改善を図りましょ。
- 冬季は安全衛生委員会等で積雪前に対策の協議を行いましょ。
- 積雪の天気予報のときは、出入口の転倒防止対策、転倒しにくい靴の着用を指示するなど早めの対策を実施しましょ。